

COF 付き Glass/Film/Film 静電容量方式タッチパネル取り付けガイド

投影型静電容量方式タッチパネルは、指で押したときの電極間の容量値変化を測定してタッチ位置を検出するメカニズムを持っています。現実には筐体に組み込むと、タッチパネル・COF と金属シャーシなどの間に、定常的に静電容量結合が生じています。

タッチパネル付近に電界を変化させる要素（大容量コンデンサ、電源ユニット、LCD パネル・アースを取りうる金属部品など高い誘電率の材料 high dielectric constant material）がありますと、入力による静電容量の増加分よりも、これらの外的要因が大きくなり、座標検出メカニズムに悪影響を与えます。

構造設計時は、下記を参考として、可能なかぎり前述の不安要素を排除するように距離をとってください。

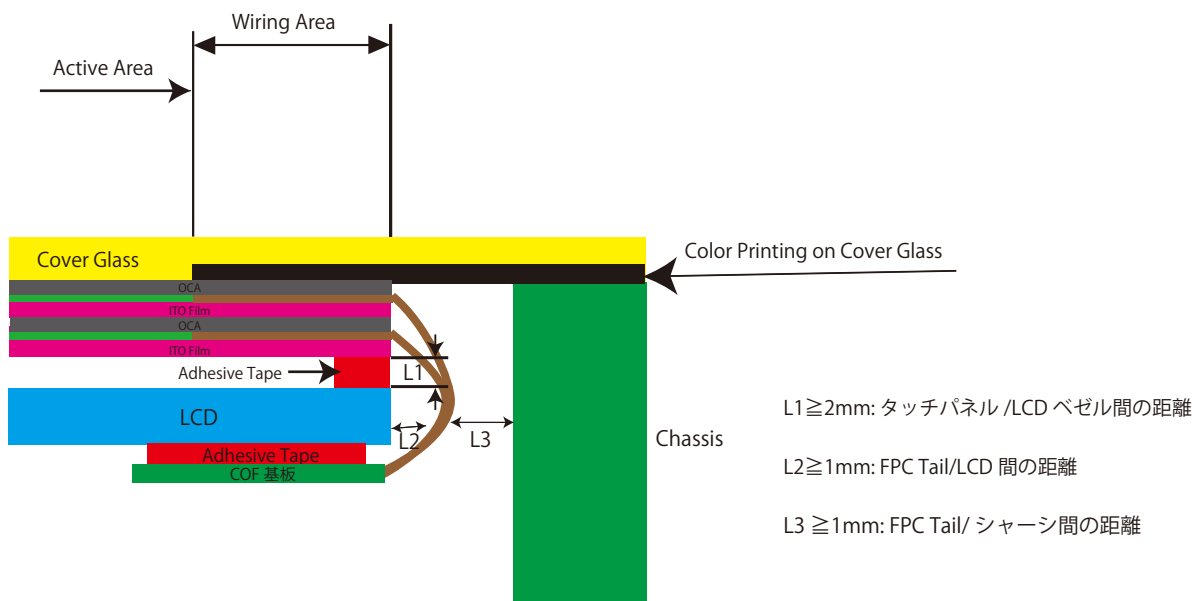
タッチパネルの寸法には公差が発生しますので、各製品図面をご参照いただき、公差に注意して設計をしていただきますようお願いいたします。

タッチパネルを押したときにもギャップが変動しないこと、経時変化によるギャップ変動が発生しないようにしっかり固定してください。誤動作を招く可能性があります。

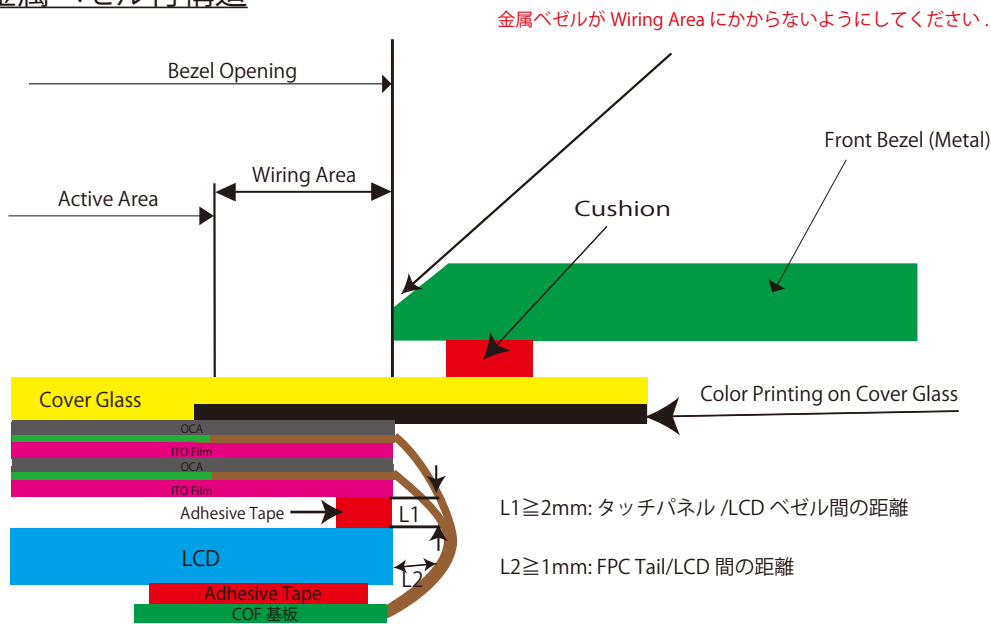
タッチパネルと LCD 間のギャップに経時変化が発生しないように、タッチパネルの貼り付けは 4 辺を隙間なく貼り付けることを推奨いたします。

本書に記載している値は参考値です。タッチパネルサイズ、使用 LCD、シャーシ設計などの要因でこれらの値は異なりますので必ず設計前に現品にて検証していただきますようお願いいたします。

ベゼルレス構造



金属ベゼル付構造



(絶縁性) 樹脂ベゼル付構造

